

# きたすま

わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる  
(マタイ 28・20)

No.215(6月号)

2021年5月30日発行  
発行 カトリック北須磨教会  
〒654-0151  
神戸市須磨区北落合 2-3-1  
発行人 高橋 聡  
編集 広報委員会

## 信者名簿

高橋 聡 神父

2005-6年頃のことはなかったかと思いますが、「個人情報保護法」の成立とともに、それを受けて、大阪教区から信徒の名簿を作らないようにとの指示が小教区におりました。

私のいた小教区の現場でも評議会などで喧々諤々の議論がなされましたが、結局、教区の指示に従うことになりました。

さすがに過去に配っていた名簿まで回収するということはしませんでした。気になっていたことがすぐに起こりました。少し年配の、他教区から転入して来た方が、全く、一年間、小教区の信者さんの誰とも連絡が取れなくて、孤独と孤立の中に居たということです。おそらく、地区の連絡網的なものを渡し損ねていたのではないかと思います。たまりかねた本人からの申し出で初めてそのことがわかりました。

ところで、この法律ができる前の日本では、当たり前のように学校では学級名簿、学年名簿が作られ、地域では町内会名簿が作られ、会社では社員名簿が作られていました。

ですから、このことによって、日本全体がある大きな転換期を迎えたともいえます。それまでの日本的な共同体の在り方が(その良し悪しは別として)音を立てて崩壊し始めたとも考えられるわけです。

さらに、このシステムの上に乗って共同体作りをしていた日本の多くの小教区では、さらに深刻な影響が現れてしまったかもしれません。特に、新しく信者になった方などが、先ほど申しましたように、誰とも連絡がつかない孤立状態になってしまいやすい事態や、あるいは、個人情報の管理が徹底して行われている場合、何か行事をするときにも、典礼委員と、教会学校と、財務などでお互い気軽に連絡が取れないような事態です。あるいは名簿を持っていて連絡が取りやすい古い信者と持っていない新しい信者との間である種の格差が生じているという事態です。

これからの時代の信者の皆さんはどのようにすればいいのでしょうか。一つの提案ですが、教会に来た時に積極的にお友達を作るようにしましょう。思い切って声をかけ、信頼できる方に思えたら積極的に連絡先を交換しましょう。このような状況下で、教会が共同体的関わりを維持するためには、今まで以上にお互いに声をかけ、連絡先を明かし合わなければダメなように思えるのです。

一言で言えば「教会でお友達を作りましょう」ということでしょうか。教会が何とかしてくれるという考えが通用しない時代が到来してきています。

積極的に隣の人に声をかけ、関わるようにしなければならぬ時代がやってきました。

## 新評議員就任ご挨拶



新たに評議員となられた5名の方にごあいさつを戴きました。

評議会 議長 ヨゼフ 豊田 巖

4月初めの夕刻、高橋神父様から北須磨教会の評議会議長に就任するようご連絡を頂き、お引き受けいたしました。

昨年初め頃から、社会ではコロナウイルスの流行に伴う様々な感染対策が施され、教会においても、清掃・消毒の徹底、地区ごとのミサ出席ローテーションの遵守、聖堂内座席間のディスタンス確保等が実施されましたが、5月には緊急事態宣言期間中、ほぼ全ての集会・行事が中止され、教会は実質上、閉鎖状態となりました。

北須磨教会の信徒の居住地域は、須磨区から西区と広い範囲に及んでいますが、共同体としての連帯意識は強く、緊急事態解除後もこれまで同様、様々な活動にご参画、ご協力いただけたと思います。どうぞよろしくごお願い申し上げます。

### 「信徒の皆さんの力に頼りながら」

評議会 副議長 ガブリエル 田邊秀人

この度、指名により諮問委員を引き受けることとなりました。今年は自宅マンションの自治会役員にもあたってしまいました。そんなわけで、「完璧を目指さず、できる範囲で、信徒の皆さんの力に頼って」いきたいと思っています。

この一年、コロナ禍によりミサを始め様々な制限を受けながらの教会運営となっています。まだまだ先が見通せない状況ですが、アフターコロナの新たな教会のイメージを見据えて準備ができたらいいなと思っています。微力ながら少しでもお役に立てるよう努めさせていただきますので、よろしくご願ひします。

### 「清々しい気持ち」

フランシスコ・ザビエル 富澤 曠彦

高橋神父様よりお電話があり、諮問委員のお話をいただき「できる範囲で協力させていただきます。」と返事をさせていただきました。

諮問委員をさせていただくのは2回目なのですが、以前と比べて変わっていることが多く、清々しい気持ちで活動をさせていただいております。今のこの気持ちを大切に、2年間しっかり役割を果たしていきたいと思っています。皆様、ご協力よろしくご願ひいたします。

## 「それでも教会は明るい光に満ちて」

アンナ 善沢志麻

今回、諮問委員に御指名いただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

教会に立ち入れなかったりご復活のミサが行われなかったり、と、前代未聞の1年を経験しました。事態に直面し、どれほどご苦労されたか、昨年の諮問委員さんたちのご決断や行動、支えに心から感謝とお礼を申し上げます。

信徒がひとつになりにくい状況下、オンラインも活用し、つなげる手を少し伸ばしたり、束ねたり、バトンしたり、の一步踏み出した工夫がいるのかも。「薄暗くて」「寒い」教会には足が遠のきます。神様の家を明るくしておけるようなお手伝いをしたいと思っています。

## 「教会の道具として」

クロチルド 浦本 智子

北須磨教会に来て約10年、なんの仕事もせずようやく二年前に初めて地区委員をただけの私がこのような役を仰せつかり、全く恐れ多いことで、正直そのお話があった晩は深夜に目が覚めて朝まで眠れませんでした。今は腹をくくって、これまでの恩返しのつもりで教会に奉仕させていただき覚悟であります。

私以外の新役員さんは皆さんベテランでいらっしゃるので、安心してついて行くつもりです。汗をかいて恥をかいて、精一杯下働きさせていただきますので、いろいろご教授下さい。二年間、どうぞよろしくお願いいたします。

\* \* \* \* \*

寄稿

## 昼間の星 (5)

マリスタ修道士会 吉田 治美

修練院に来て二年目の春、三月。私の母が亡くなったと、熊本の校長から修練院長に連絡があった。修練院長は私に「今日の午後のスケジュールはみな忘れてよいから、一人で静かに、修練院のどこへでも行って、自由に過ごして下さい」と言われた。実に有難い、思いやりのある言葉であった。誰もいない静かな聖堂、教室、外庭、林の中で、私はゆっくり母のことや、今後のことなどを考えた。

六月までには修練院の二年間で学ぶべき学課の試験がすべて終了した。これでマリスタ大学一年目に必要な学課をすべて履修したことになる。夏のキャンプから帰院すると、この二年間の全学課の試験の結果が出ていた。それを見ながら私の中である思いが膨らんで行った。この後、すぐ帰国するのか、どうするのか。

日本を出発するとき、熊本の校長から言われたことは、米国の修練院に行き、二年後に初誓願を立てて、修道士となって帰って来なさい、ということだった。私自身も、

それ以上のことは何も考えていなかった。「二年たったら帰って来るからね」と母にも言っておいたことだった。しかしその母も亡くなった。

初誓願を立ててすぐに帰れば、修道士として事務室で、事務の仕事に専念することになる。それはそれで大事な仕事であるけれど、生徒と触れ合うことはあまりないだろう。この二年間、修練院で学んだこと、マリスタ修道士の本来の使命は、「教育を通して、イエスとその教えを宣べ伝えて行くこと」。これは修練院でしっかり学び、心に刻んで来たことだ。私もそのような道に進むべきではないだろうか、という思いが心の中に広がって行く。それにはマリスタ大学であと三年、大学生活・修道生活を送らねばならない。これまでの修練院での二年は何とかやって来た。大学での三年間もきつとやって行けるだろう。私は熊本の校長に手紙を書いた。しばらくして返事が来た。OK、やりなさい、であった。

マリスタ大学はニューヨーク市の北方、車で二、三時間ほどで、プーキーブシーという市に入ると、やがてマリスタ大学のキャンパスが見えてくる。左手にはハドソン河、大学はその河沿いにある。

ここで学ぶ大学生の修道士は全部で七十名ほど。教授やその他の修道士たちも二十数人ほどいる。これら全部の修道士たちの居住する場所は、大学の校舎や一般学生の寄宿舍などからは離れたところにある。私たち学生修道士のための場所全体をscholasticate(スコラスティケート)と言っているが、日本語では修学院と呼べばぴったりくる。修学院全体はハドソン河をじかに見下ろす小高い台地の上にある。

修学院では修練院と違い共同の作業や運動はない。大学では各自の専攻科目によって受講する時間が各自異なるからだ。教室では一般の男女の学生に混じって修道士たちは黒の修道服を着て参加し、それぞれの教室で受講する。私は数学を専攻。

三年間の大学生活、修道生活はとても充実していた。私には大学進学を完全に断念していた一時期がある。それが数年も経って、断念していた大学生活を修道生活と共に過ごしている。思い出す度に、主の御計らいに感謝の気持ちが湧いてくる。

今年の「毎日の黙想」四月号にとっても参考になることが書いてあった。

『私たちの人生をふりかえってみると、その一步一步について、神が完全な目的と計画を持っておられたことが、よく分かって来る。

このような霊的な振り返りは、神の御計画に畏敬の念を抱く助けとなる。

あなた自身や、あなたの愛する人々の人生に起こったいくつかの出来事を、折にふれて振り返ってみることは、とても価値のあることだ。これらの状況を通して神がどのように働いておられたかを、私たちは理解するようになる』。

以前にも書いたが、熊本の姉の知人で、私も二、三度お会いしたことのある杉山さんという男性(姉も杉山さんも信者ではない)が上京し、帰りの汽車の中で外国人の神父さんと隣り合わせた。二人とも帰る先は熊本ということで親しくなり、当時二十数時間かかった夜行列車の中で、いろいろな話をしたことだろう。その中でどういうわけか、私のことが話に出た。熊本の手取教会に帰った神父さんは一通の手紙を書いた。しばらくして小包が届き、中に英国製の中古だが立派な補聴器が入っていた。神父さ

んはそれを私にくださると言う。私には初めての教会という所へ出かけて行った。残念ながらその補聴器は音量不足で私には役に立たず、一応お礼を述べて、帰って来た。しばらくして神父さんから信仰講座にお誘いがあり、あまり気乗りがしなかったが出かけて行った。私の難聴のことを心にかけてくださったのか一対一で教えを受け、一年と四か月後、八月の聖母被昇天の祝日に洗礼を受けた。私が 25 歳の時だった。

なぜ一面識もなかった二人が、たまたま列車の中で出会ったことから、そのあと次々に、私の洗礼にまで、(私の場合はその後修道士になるまで)、つながって行ったのか、神の御手が働いていたとしか思えない。あれから長い年月が流れているのに、思い返すたびに、神の御摂理を考え、感謝と喜びが湧いてくる。これは私たちが愛する、知っている誰かに対しても、同じようにして神に感謝をすることができそうだ。今は亡き、あるいは今もいる誰にでも、苦しみ、悲しみ、喜びの人生があったらし、あるだろう。神は常にすべてを見通す大きな愛の目で見とおられる。

× . . . × . . . × . . . × . . . × . . . × . . . × . . . × . . . × . . . × . . . ×

## お知らせ

### 〈ミサローテーション〉

5/31 以降、宣言解除になりミサが再開されましたら下記のローテーションで、以前のようにご参加ください。(ミサ再開は地区連絡網でご連絡いたします)

主日	6月6日	6月13日	6月20日	6月27日	7月 4日
地区	年間第11	年間第11	年間第12	年間第13	年間第14
1 地区			○		
2 地区	○				○
3 地区				○	
4 地区		○			
5 地区		○			○
6 A地区	○			○	
6 B/7 地区			○		

■ミサに与る時はマスクを着用し、手指の消毒を心掛けてください。

■『聖書と典礼』はご自分の分を持参してください。

■体調がすぐれないときは無理をしないでください。

(8/15 までのローテーションをレターケースに入れております )

### 編集後記

感染者数は少し減ってきましたが、緊急事態宣言はまだ延長されるようです。高齢者へのワクチン接種は始まりましたが、早く皆に行き渡り、全員が教会に集えるようになりたいものです。

新しい評議員も決まり準備万端ですが、早く新しい息吹を響かせていただきたいものです。

オリンピックはあるのかな?

(KJH)



# マンスリースケジュール6月

2021



日・曜日

6/1 火  
2 水  
3 木  
4 金  
5 土

**6 日** キリストの聖体 ミサ10:00～ 第2・6A地区

7 月  
8 火  
9 水  
10 木  
11 金  
12 土

**13 日** 年間第11主日 ミサ10:00～ 第4・5地区

14 月  
15 火  
16 水  
17 木  
18 金  
19 土

**20 日** 年間第12主日 ミサ10:00～ 第1・6B・7地区 評議会(ミサ後)

21 月  
22 火  
23 水  
24 木  
25 金  
26 土

**27 日** 年間第13主日 ミサ10:00～ 第3・6A地区

28 月  
29 火  
30 水  
7/1 木  
2 金  
3 土

**4 日** 年間第14主日 ミサ10:00～ 第2・5地区

注) 緊急事態宣言発令中は公開ミサはありません。再開時は連絡網等でお知らせいたします。

カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>

葬儀用電話の運用は終了しました。緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。

